

平成31年度 第2回教育課程編成委員会 議事録

日 時 令和2年3月24日（火）14時00分～15時10分

場 所 長崎医療こども専門学校 3階普通教室

出席者	職名	氏名	所 属 ・ 役 職	関連学科
委員長	松添邦廣	長崎医療こども専門学校	校長	
委 員	佐原恭輔	長崎県柔道協会	会長	柔道整復師科
委 員	藤田裕紹	有限会社 藤田企画	代表取締役	柔道整復師科
委 員	小林泰子	長崎県歯科医師会	課長	医療ビジネス科
委 員	安元宏之	医療法人 緑風会	事務長	医療ビジネス科
委 員	柿田正	長崎市保育会	会長	保育こども科
委 員	伊東俊祐	社会福祉法人 明星会 明星園	園長	保育こども科
委 員	小川幸雄	ユニティ事業協同組合	理事	介護福祉科
委 員	吉田芳男	社会福祉法人 小榎アスカ福祉会	理事長	介護福祉科
委 員	一ノ瀬泰	長崎医療こども専門学校	本部長	
委 員	松尾広宣	長崎医療こども専門学校	事務局長	
委 員	中嶋真司	長崎医療こども専門学校	柔道整復師科	科長
委 員	山崎美奈子	長崎医療こども専門学校	医療ビジネス科	科長
委 員	岩永加寿恵	長崎医療こども専門学校	保育こども科	教員
委 員	山下 忍	長崎医療こども専門学校	介護福祉科	科長

- 議 題
1. 委員長挨拶
 2. 学内委員から、来年度の教育課程表についての説明
 3. 外部委員から、来年度の教育課程表についての質問等
 4. 調査事項についての報告
 5. 質疑応答
 6. 委員の更新について
 7. その他

議事録 1. 委員長挨拶

学校長の松添が委員長となり、本日の会議の趣旨及び目的について話し、外部委員の皆さんから忌憚のないご意見やご要望を出していただきたいと説明した。

2. 学内委員から、来年度の教育課程表についての説明

【柔道整復師科】

中嶋委員

・柔道Ⅰ～Ⅴ

柔道の歴史や礼法についての時間を多く取り入れた。

・柔道整復学総論Ⅰ～Ⅴ

幅広い施術の技術を身につけるため、シラバスを変更した。

・基礎柔道整復実技Ⅰ～Ⅵ

実技の基礎をしっかりと指導し、応用力をつける。

【医療ビジネス科】

山崎委員

・診療報酬請求事務

読解力を身につけるため時間を増やした。

・歯科助手

応用力を身につけるため実技の時間を増やした。

【介護福祉科】

山下委員

・チームマネジメント

現場で重要視されているチームマネジメントの科目を増やした。

【保育こども科】

岩永委員

・実習前にボランティア活動を行うようにした。

・施設訪問を行う際に学年ごとではなく、タテ割りに行うようにした。

3. 外部委員から、来年度の教育課程表についての質問等

【柔道整復師科】

吉田委員

前回の会議でご意見させていただいた内容を反映していただきありがとうございます。

柔道を通して心身を鍛え、立派な柔道整復師を育成していただきたい。

藤田委員

吉田委員と同じく、前回の会議でご意見させていただいた内容を反映していただきありがとうございます。

柔道整復師は医学界の中でも重要な役割を果たしていると思います。そういう社会に貢献できる人材を育成していただきたい。

【医療ビジネス科】

小林委員

私は長崎歯科衛生士専門学校の教員もしていますが、専門的な教育だけでなく、人間性教育を高めるためにビジネスマナーなどは大事だと思います。

また、歯科助手の実技の時間を増やしていただき、ありがとうございました。

安元委員

前回の会議で読解力の向上が必要ではないでしょうかと意見を出しましたが、診療報酬請求事務の時間数を増やし、読解力向上に取り組んでいただけるとのことですので、これからも優秀な学生の指導に取り組んでください。

【介護福祉科】

小川委員

介護の現場では、職員間・利用者・ご家族とのコミュニケーションが大事ですので、専門的な技術の指導はもちろんですが、コミュニケーション能力を高めるようなご指導もよろしくお願いします。

吉田委員

介護の現場でチームマネジメントは大事ですので、学校でしっかりと学び、利用者に寄り添える介護福祉士を育成してください。これからもよろしくお願いします。

【保育こども科】

柿田委員

私の保育園にも学生さんがボランティアや実習で来られていますが、とても元気で良く指導されていると思います。

これからも保育の業界は社会生活において重要な役割を果たしますので、今後ともしっかりと指導をなさってください。

伊東委員

保育所や幼稚園に比べ、児童養護施設への就職を希望する学生さんは

少ないですが、私たちも講師を派遣したり、施設実習の際に仕事のやりがい等を伝えていきますので、今後ともよろしくお願いします。

4. 調査事項についての報告（事務局より報告）

（1）授業評価について

本年度より、各教科についての授業評価を行いました。

評価方法は、学生自身が理解できたかという評価と、授業の内容に関する評価を行いました。

本年度から初めて取り組みましたので、評価した結果をどのように活かしていくかはこれから検討をし、次年度以降の授業内容の向上に取り組んでいきたいと考えています。

（2）各学科・部門の重点目標の達成状況について

本年度の重点目標である以下の項目について、各学科・部署にて具体的な目標を設定し、年度末にその達成状況を確認するという方法で行っています。

○本年度の重点目標

①学生全員の就職及び進学の実現に努める。

②学生の国家試験及び資格取得の向上を目指す。

③学生の中途退学者の低減に努める。

各学科・部署により目標を達成できたところもありましたが、中途退学者が目標よりも多く出た学科もありました。

この取り組みをPDCAサイクルとし、毎年継続して行うことにより、学校の質の向上につなげていきたいと考えています。

5. 質疑応答

特になし

6. 委員の更新について

松添委員長

皆様の任期が令和2年3月31日までとなっております。この1年半に亘りご協力をいただきまして、誠にありがとうございました。

学内で協議した結果、今後も皆様に外部委員に就任していただき、本校の教育力及び学校の質の向上のためご協力を賜りたいと考えておりますが、いかがでしょうか。

→全員異議なし

ありがとうございます。委員の更新のための書面は後日お送りして手続きを行います。

7. その他

【国際ビジネス科】

松尾委員より、国際ビジネス科の中途退学者数の内訳について説明がなされた。

閉 会

松添委員長

以上をもちまして、平成31年度 第2回教育課程編成委員会を閉会いたします。

本日はお忙しい中ご参加いただきまして、誠にありがとうございました。なお、この後開催される学校関係者評価委員会にもご参加いただく皆さま方は、引き続きお願いいたします。

以 上